

(添付)

## 情報公開文書

『小児期肥満の要因探索に関する観察研究』に参加されるみなさまへ

近年、小児の肥満は増加しており、日本を含む世界の多くの国で社会的課題となっています。小児期の肥満は小児期だけの問題ではなく、成人期の高血圧、高脂血症、耐糖能異常などの生活習慣病に結びつくと言われていています。在胎週数や出生体重、胎内環境などの周産期因子から生後の養育環境に至るまで、様々な要因が小児期肥満に関連していると考えられています。このようなことから京都大学大学院医学研究科医療疫学分野と神戸大学大学院医学研究科小児科分野が協力して、小児期肥満に関連する要因の分析を行います。今回行う研究により周産期因子ならびに生後の養育環境の違いが小児期の肥満に与える影響を検討した上で、どのような要因があれば児の肥満を予防できるのかを探索いたします。

これらの研究には 2007 年度から 2009 年度に出生され、乳幼児健診を受診されたみなさまのデータが用いられます。この研究により、みなさまに新たにご負担いたがくものではありません。また、みなさまのお名前は匿名化（数字化）されているためプライバシーは保護されています。この分析の結果を、保健行政に活かされるべく進めさせていただきます。

みなさまにおかれましては、データ利用の目的と趣旨をご理解いただきますようお願い申し上げます。このような研究に対してご質問のある方は、下記の連絡先までご連絡ください。

### <本分析の概要>

- ① 研究名：小児期肥満の要因探索に関する観察研究：神戸市乳幼児健診データを用いて
- ② 対象者：2007 年～2009 年度に出生され神戸市乳幼児健診を受診され、健診データ利活用に対して既にご承諾いただいたみなさま。
- ③ 対象となる期間：2007 年 4 月 1 日 ～ 2011 年 3 月 31 日
- ④ 研究目的の概要：周産期や生後の養育環境と 3 歳時点での肥満の関連性を分析します。
- ⑤ 研究方法の概要：上記の期間の神戸市乳幼児健診データを用います。

- ⑥ 個人情報保護の仕組み：乳幼児健診データは個人を特定しうる情報は全て番号等に変換されております。そのため、分析を行う京都大学ではみなさまの個人を特定しうる情報はいかなる形でも取り扱いません。
- ⑦ 了解を求める事項：神戸市において乳幼児健診を受けられた方の調査データを使わせていただきます。研究に関してご不明の点がございましたら、以下のお問い合わせ先にご一報下さいますようお願い申し上げます。

本研究に関するお問い合わせ先：

京都大学大学院 医学研究科 医療疫学分野

研究担当者：宮越 千智

研究実施責任者：福原 俊一

京都市左京区吉田近衛町

電話：075-753-4646

京都大学 医学・病院構内共通事務部

経理・研究協力課 国際掛

電話：075-753-4305